

1．単元名 もののとけかた

2．本時のねらい

- ・ ほう酸は水の温度によってとける量が決まっていることから、飽和水溶液の温度を下げたときの析出や、析出したものが再び温度を上げることによってとける現象を理解することができる。

3．本時の展開

学習活動	センター指導主事の支援
1．前時の実験結果を確認する。 2．本時の課題をつかむ 《教科書 P34 のグラフを見て》 (1) 50 の水にとけるだけとかし、しばらくたって液の温度が下がると、とけていたものが多く出てくるのは食塩かほう酸か。 (2) 30 の水にとけるだけとかし、水を全部蒸発させると、とけていたものが多く出てくるのは食塩かほう酸か。 3．(1)について話し合う 4．(2)について話し合う 5．センターの先生のお話を聞く 6．食塩のきれいなかざりをつくろう 7．次時への連絡	・ グラフより分かることをアニメーションなどを使い、分かりやすくまとめをしていただきたい。 ・ 析出する様子を、映像で示して頂きたい。 ・ かざりを上手に作るコツや、かざりができる科学的なメカニズムを教えていただきたい。

4．評価

ほう酸は水の温度によってとける量が違うことをもとに、グラフについて考えることができたか。

5．事前の打ち合わせの内容

6．授業を終えて

7．本授業の生かし方

- A 来年度もお勧め B 改良すればお勧め C お勧められない